

2016年12月期 第2四半期 決算説明資料

サイオステクノロジー株式会社
(東証二部 : 3744)
2016年7月29日

目次

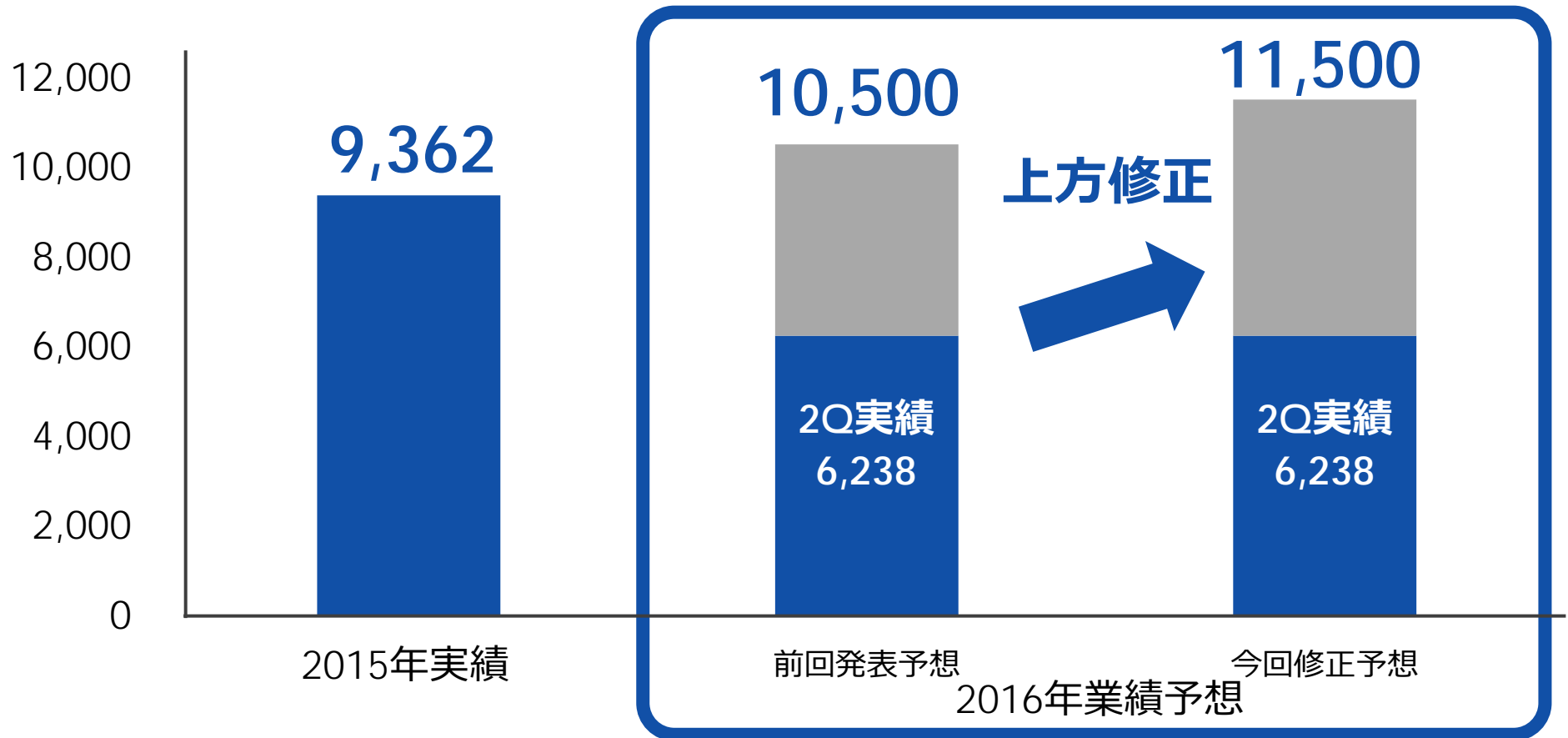
- I** 2016年12月期 第2四半期ハイライト
- II** 2016年12月期 第2四半期業績の概要
- III** 中期基本方針と第2四半期の取り組み
- IV** 中期損益計画および通期業績予想
- V** 当社子会社の不適切な会計処理等に関する再発防止策について



2016年12月期 第2四半期 ハイライト

2016年業績予想の修正 売上高100億円企業へ

(単位：百万円)



業績予想を115億円に上方修正！

第2四半期トピックス



1

2015年に子会社化したキーポート・ソリューションズ、Profit CubeによりFintech*に進出！

2

人工知能技術への投資を推進
SIOS iQ*新バージョン発表！

3

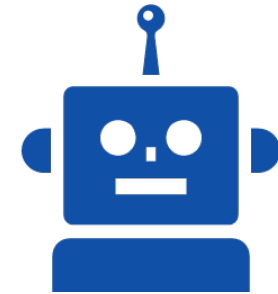
OSS*、LifeKeeper*、MFP向けソフトウェア製品*
等の既存事業伸長で盤石な収益基盤を確立

※ 「*」を付した用語につきましては、36ページに解説を記載しております。

生まれ変わるサイオス！



売上高100億円をベースに次の
ステージへアクセル全開！



Fintech、人工知能技術で
業界をリード！

Re
born!



OSS、LifeKeeper、
MFP向けソフトウェア製品
による盤石な収益基盤！



コンプライアンス体制強化で
高い信頼を実現！

Ⅱ

2016年12月期 第2四半期 業績の概要

2016年12月期 第2四半期 業績（連結）



（単位：百万円）

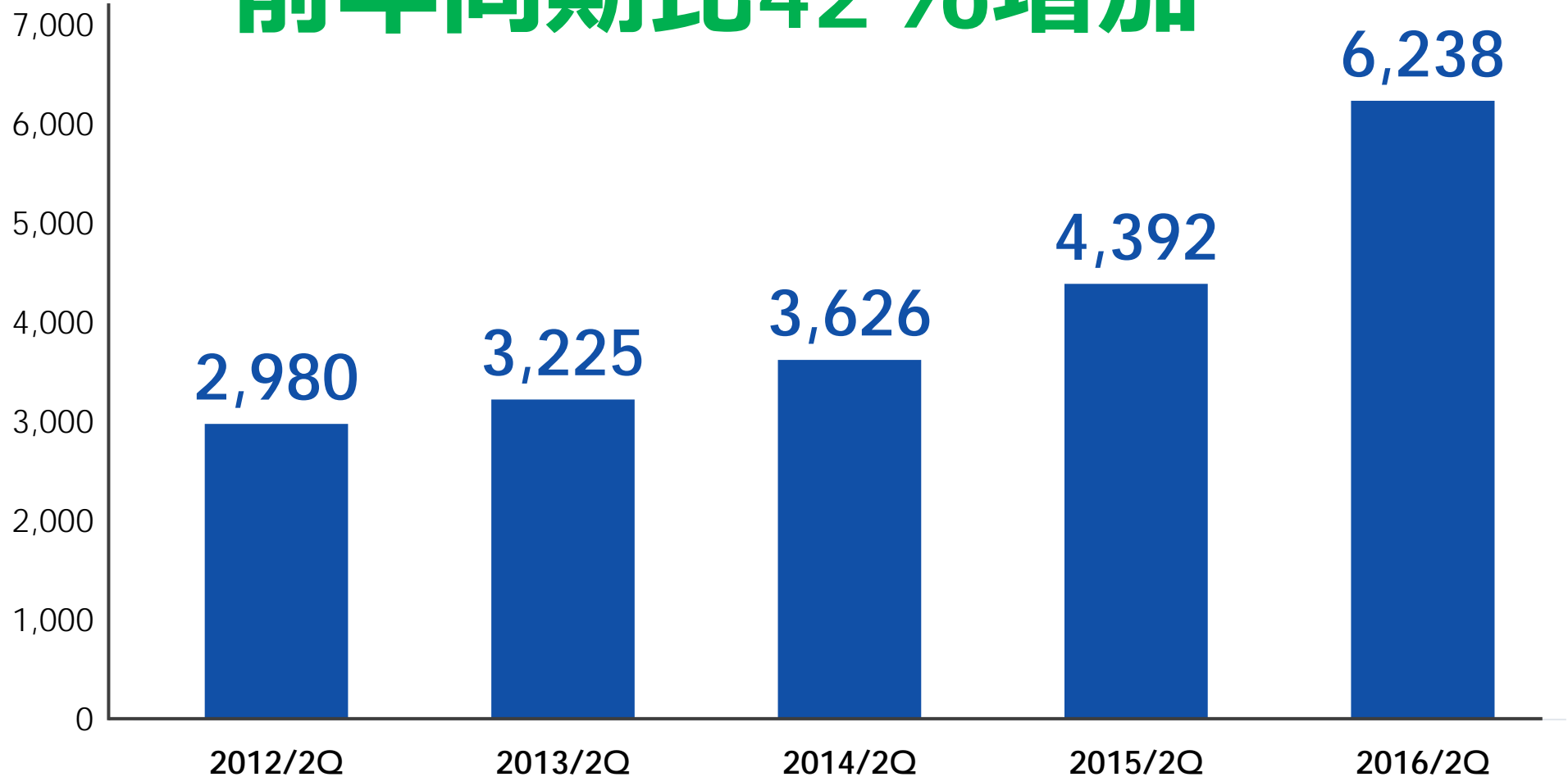
	15年12月期 1-2Q実績	16年12月期 1-2Q実績	差額	前年同期比
売上高	4,392	6,238	+1,845	+42.0%
売上総利益	1,580	2,268	+688	+43.6%
営業利益	△55	330	+386	—
経常利益	△38	292	+330	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△59	88	+148	—
EBITDA	△21	417	+438	—

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

第2四半期 連結売上高の推移

前年同期比42%増加

(単位：百万円)



2015年度に積極的なM & A戦略を展開



株式会社キーポート・
ソリューションズ
(以下、KPS)



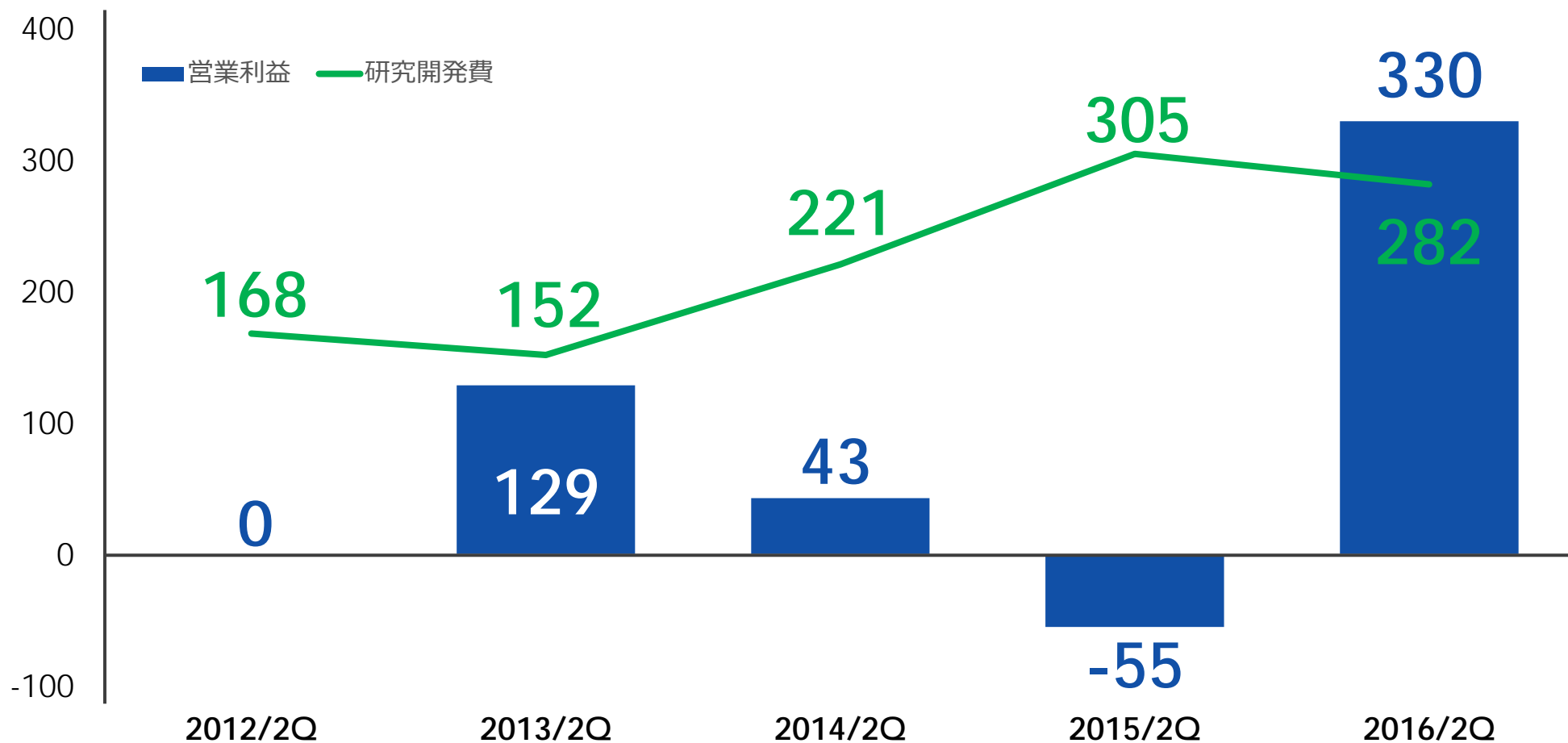
Profit Cube株式会社
(以下、PCI)

を子会社化したことが寄与し、**大幅な増収**

第2四半期 連結営業利益および研究開発費の推移

- 営業利益は前年同期比**385百万円増益**
- 研究開発への**継続的投資**

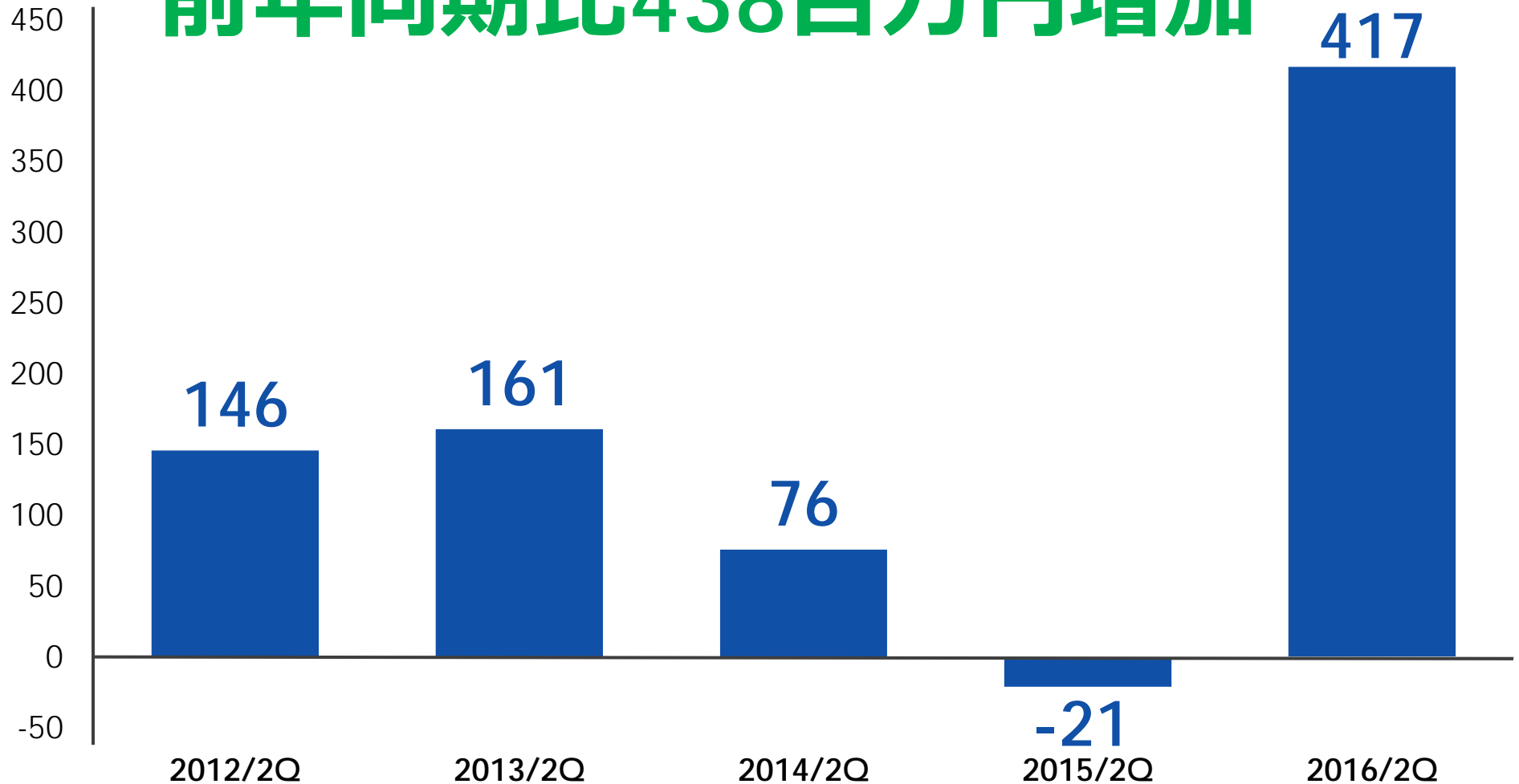
(単位：百万円)



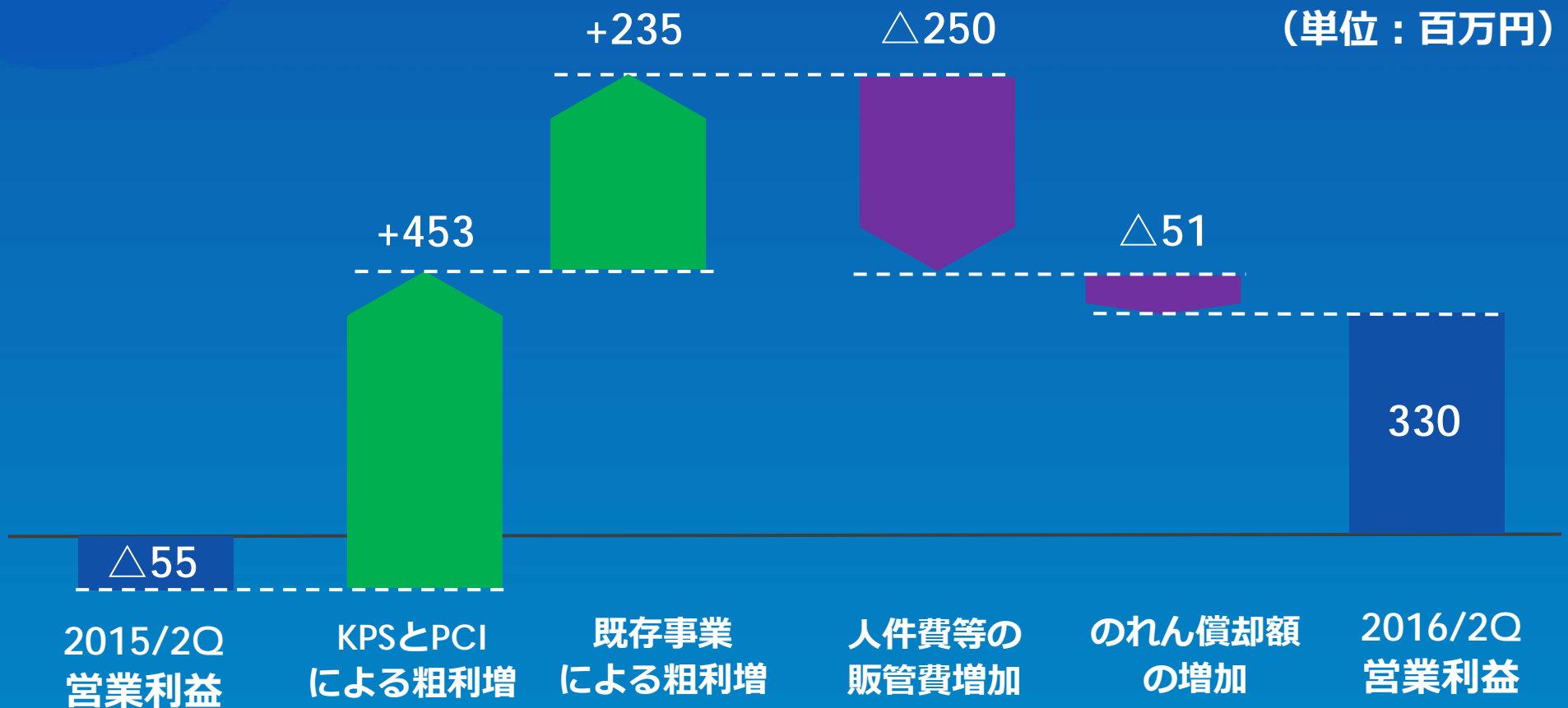
第2四半期 連結EBITDAの推移

前年同期比438百万円増加

(単位：百万円)

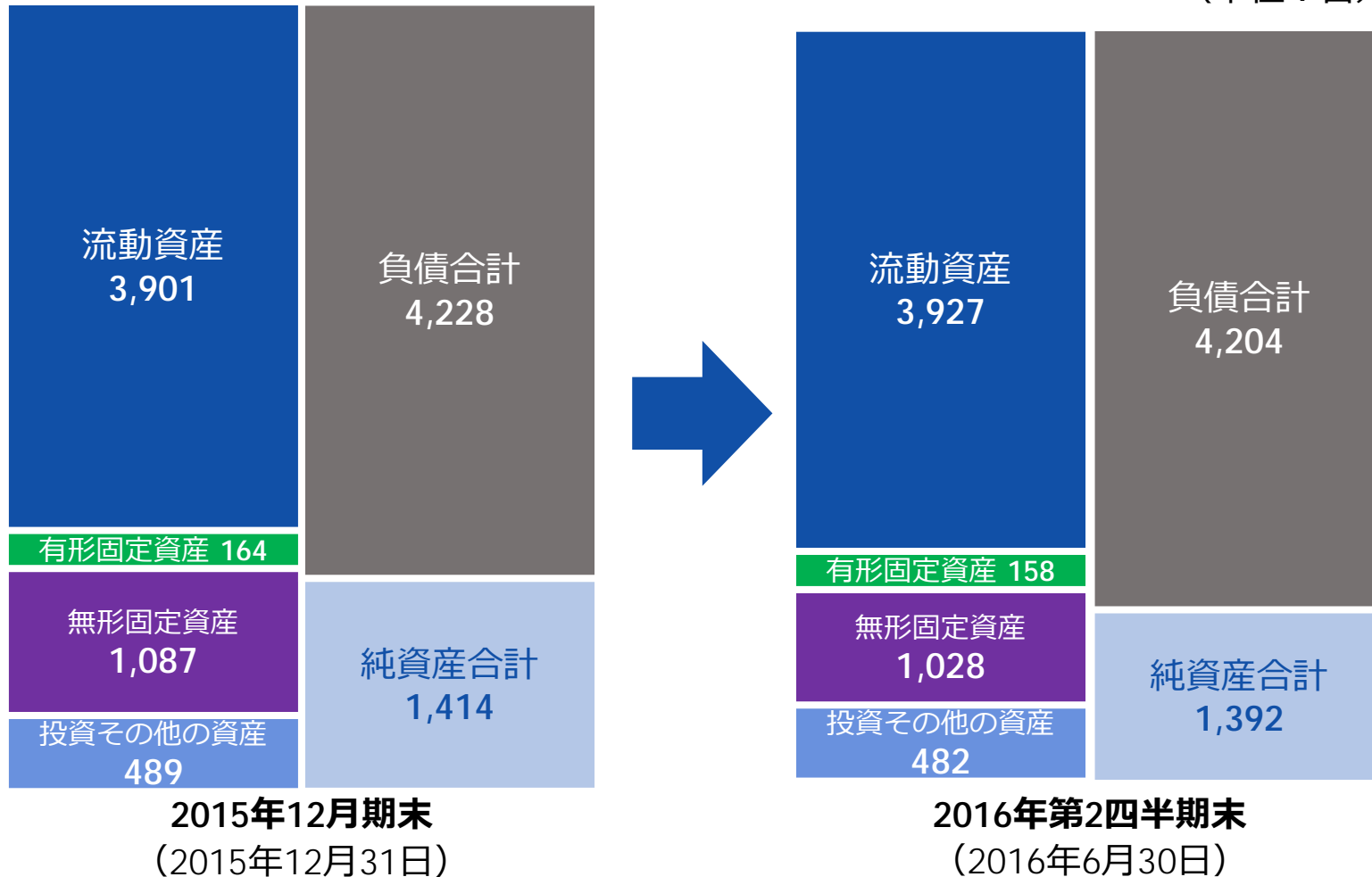


KPSとPCIの買収、既存事業の増収に伴う粗利増が 寄与し、人件費・のれん償却額等の増加を吸収して 営業利益は大幅増益

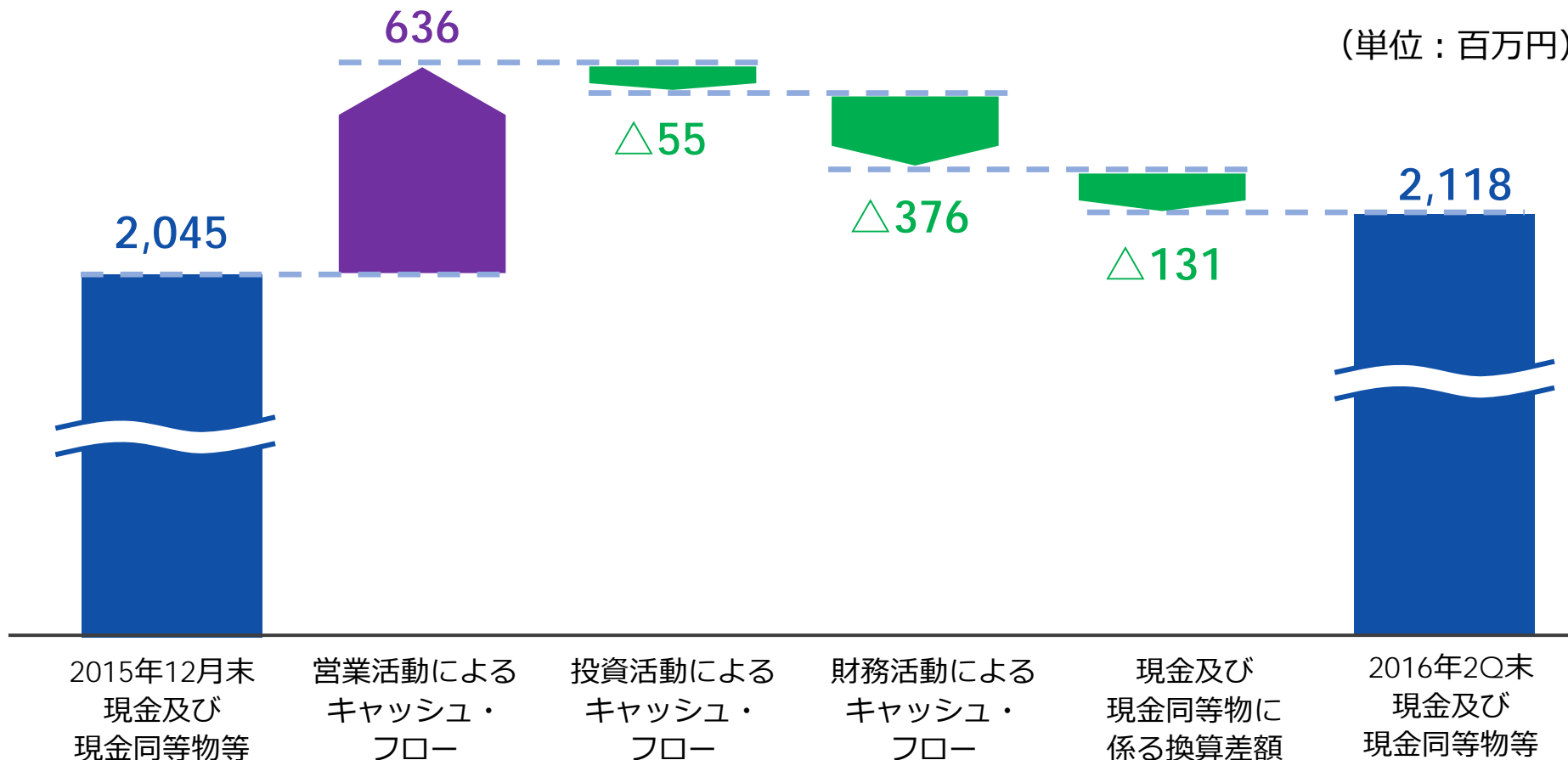


第2四半期 貸借対照表 (連結)

(単位：百万円)



第2四半期 キャッシュ・フロー（連結）



- 現預金等の手元資金は **21億円**
- **成長戦略**を加速するための潤沢な資金

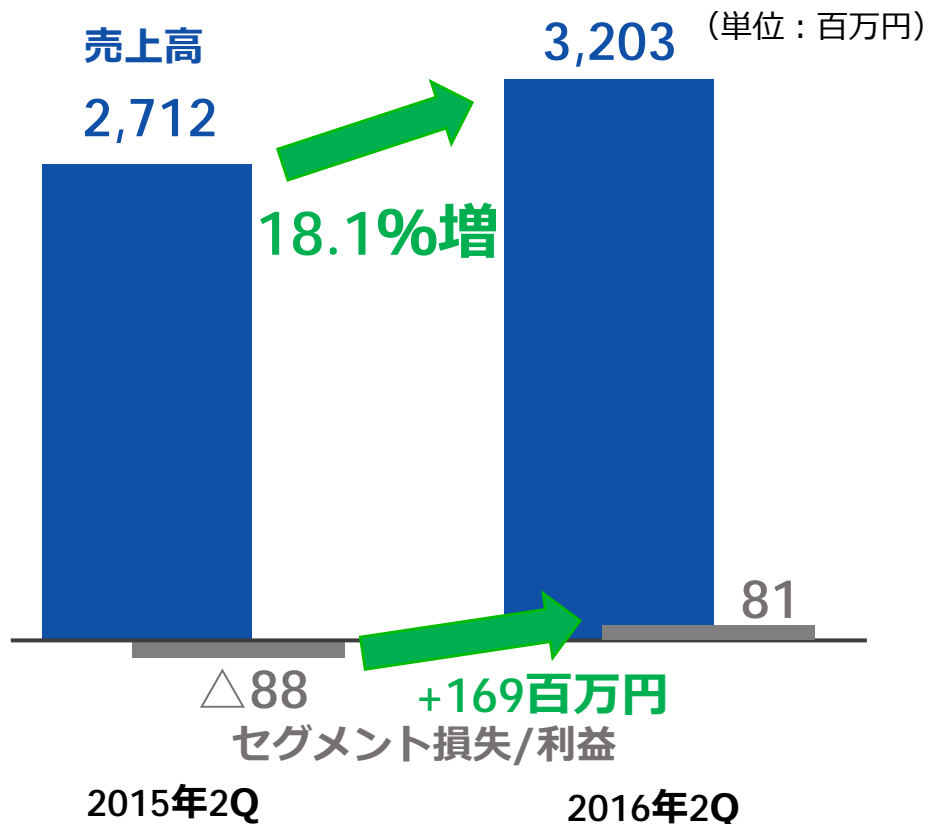
オープンシステム基盤事業

売上高

3,203百万円（前年同期比 18.1%増）

セグメント利益

81百万円（前年同期は損失88百万円）



売上高

国内

- 当社主力製品の「LifeKeeper」は順調な増収
- Red Hat, Inc.関連商品の販売は順調な増収
- OSS サポートサービスやOSS関連商品が好調な増収

海外

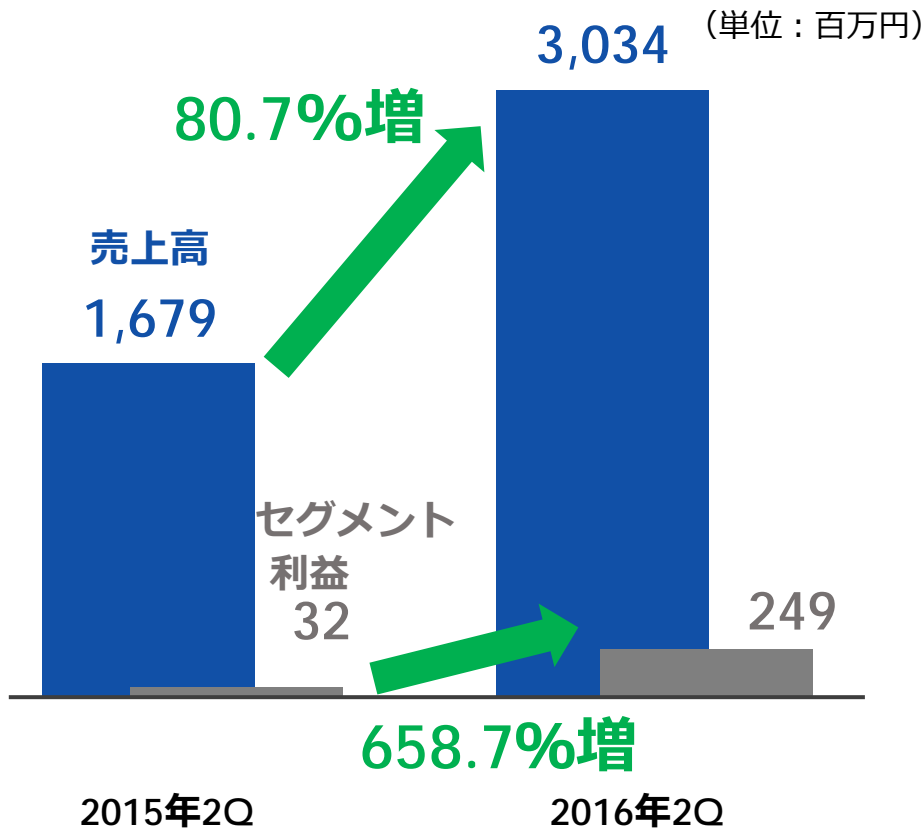
- 米州、欧州、アジア・オセアニア地域が順調な増収

セグメント利益

- 機械学習技術*を用いたIT運用分析ソフトウェア「SIOS iQ」の研究開発を継続
- 既存事業が順調に推移し、黒字化

アプリケーション事業

売上高	3,034百万円（前年同期比 80.7%増）
セグメント利益	249百万円（前年同期比 658.7%増）



売上高

- KPS、PCIの子会社化により**大幅な増収**
- MFP向けソフトウェア製品*が**順調な増収**

セグメント利益

- KPS、PCIの子会社化により、人件費および地代家賃等が増加
- 売上高の伸長による売上総利益の増加がこれらの費用を吸収

Ⅲ

**中期基本方針と
第2四半期の取り組み**

中期経営戦略の基本方針

**1 Fintechを含む
新たな領域での新規事業創出**

2 継続的な研究開発投資

3 コアビジネスの競争力強化

① Fintechを含む新たな領域での新規事業創出

金融機関向け収益管理システムの
新技術で特許を取得

金融機関向け自動ローン審査シス
テムを開発、新技術の特許を出願

① Fintechを含む新たな領域での新規事業創出



2016年3月 金融機関向け収益管理システムの 新技術で特許を取得

- 法人・個人顧客の収益性を多様な属性を切り口として分析し、**予算策定と実績管理を行う機能**で特許を取得
- 2016年6月新たに2件の特許を分割出願

2016年4月 金融機関向け自動ローン審査シス テムを開発、新技術の特許を出願

- 申込者との過去の取引履歴を活用して**自動で信用判定を行う機能**に関する特許を出願
- 金融機関が保有するデータを活用し、収益に結び付けることができる画期的なシステム

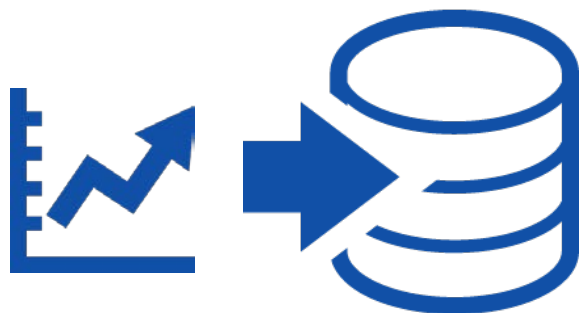
② 継続的な研究開発投資

機械学習技術を用いたIT運用分析
ソフトウェア「SIOS iQ」の
新バージョンを発売

② 継続的な研究開発投資

2016年3月 機械学習技術を用いたIT運用分析ソフトウェア
の新バージョン「SIOS iQ v3.5」を発売

学習結果に基づいたストレージ枯渇予測機能を追加



ストレージの使用量予測機能

学習結果に基づいた予測を利用し、ストレージの容量を過度に用意する必要性を排除、コスト節約も可能に



刷新された 性能問題分析レポート

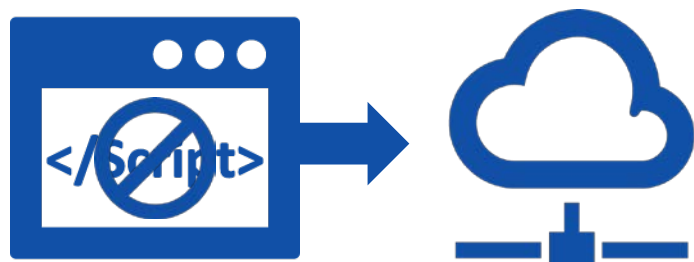
利便性向上、効率的にレポートを参照可能

③ コアビジネスの競争力強化

- i) 「LifeKeeper」の新バージョン発売
- ii) MFP向けソフトウェア製品の機能強化
- iii) クラウド*向けOSSサービスの拡充

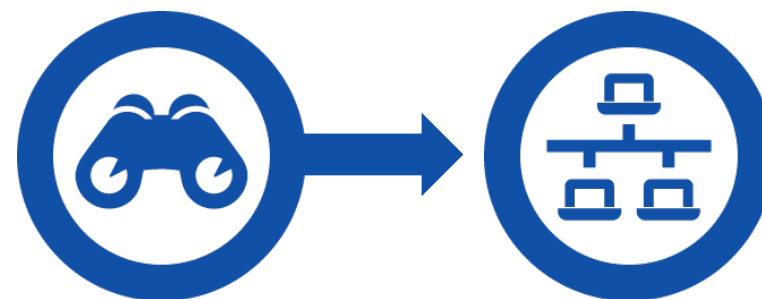
③ コアビジネスの競争力強化

i) 2016年7月 「LifeKeeper for Linux v9.1」の販売開始



Quick Service Protection

- 経験と高度なスキルが求められるスクリプト作成が一切不要となり**工数を削減**
- クラウド環境における**スピーディーなシステム展開**に貢献



外部システム

LifeKeeper

LifeKeeper APIs

- 外部システムからLifeKeeperの稼働状況を監視
- LifeKeeperを含めた**システム全体の一元的な監視が可能に**

③ コアビジネスの競争力強化

ii) 2016年4月「QuickスキャンV4.1」を開発、MFP向けソフトウェア製品の機能強化



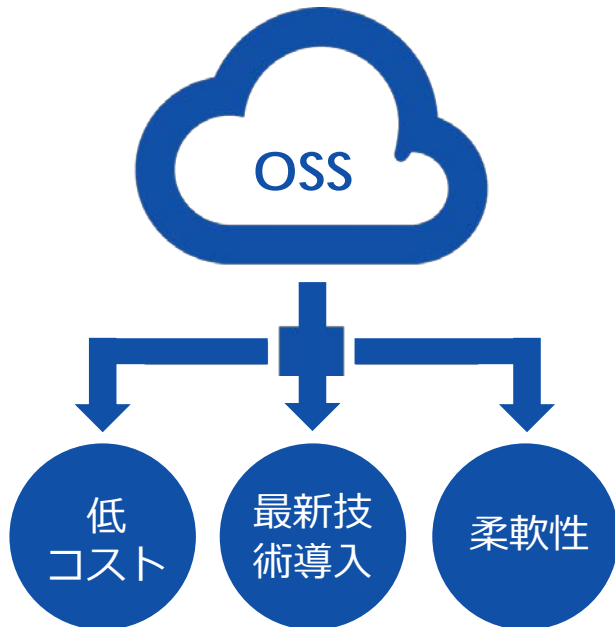
データがクラウドに保管され外出先から**モバイル環境で確認可能**、
「kintone」上でスキャンしたデータを利用でき**業務効率も向上**

サイボウズ株式会社の
業務アプリ開発プラットフォーム
「kintone（キントーン）」
の機能を統合

③ コアビジネスの競争力強化

iii) 2016年5月 Microsoft Azure 上に企業向け
「OSS on クラウドインテグレーションサービス」を提供

～Red Hat Enterprise Linux on Azure導入サービスを提供開始～



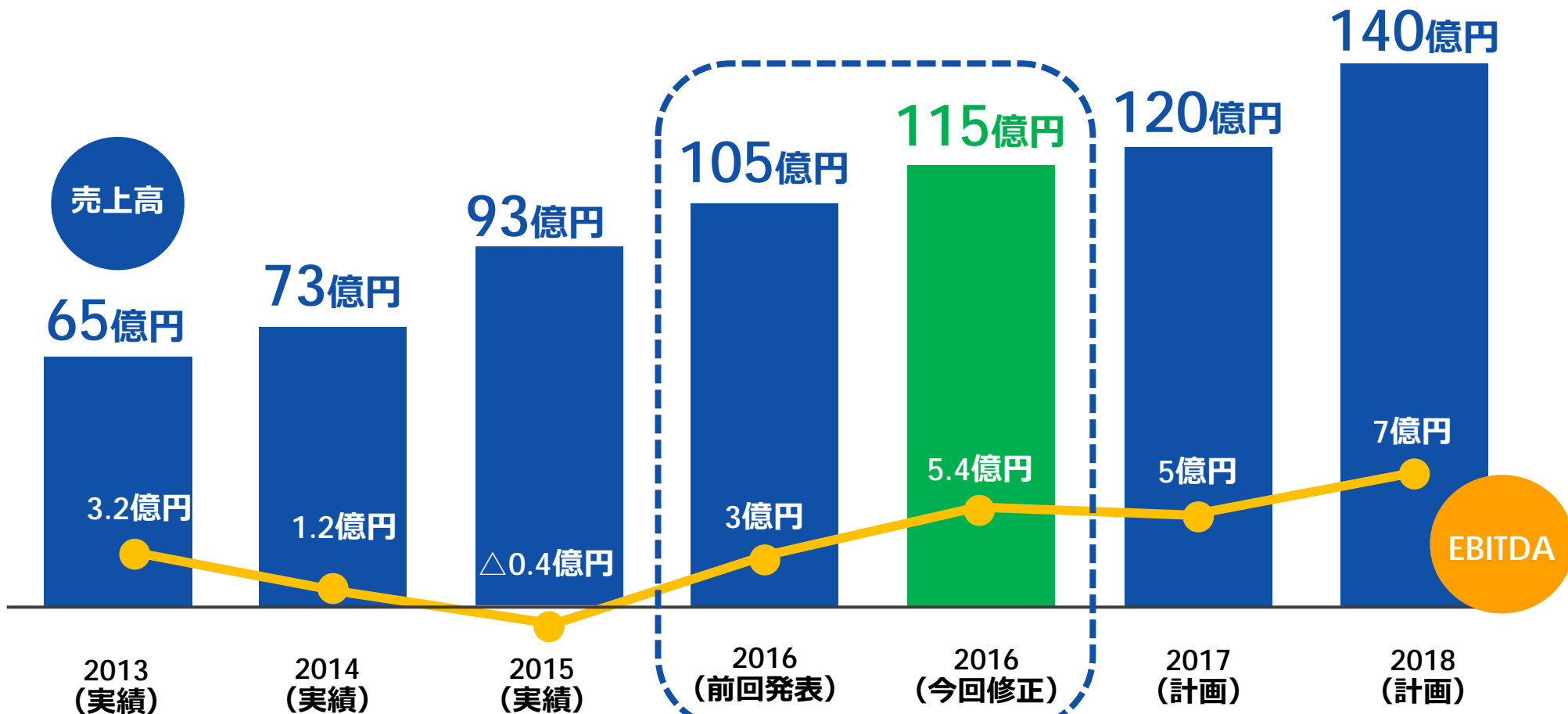
- クラウドとOSSの組み合わせは**低コスト**で**最新の多様な技術を素早く導入**できることが強み
- **コスト効率、柔軟性の高さ**から企業の基幹・業務システムにおいてクラウド導入に併せたOSSの活用



中期損益計画 および通期業績予想

中期損益計画について

今回修正で2017年計画値に対し、
売上高は概ね達成、EBITDAは1年前倒しで達成予定



2016年12月期 通期業績予想



(単位：百万円)

16年12月期
1-2Q実績

16年12月期
通期業績予想

進捗率

売上高	6,238	11,500	54.2%
営業利益	330	370	89.2%
経常利益	292	310	94.2%
親会社株主に 帰属する当期純利益	88	100	88.0%
EBITDA	417	540	77.2%



当社子会社の不適切な会計処理 等に関する再発防止策について

連結子会社における不適切な会計処理について



過年度連結決算訂正

(単位：百万円)

	12年12月期			13年12月期			14年12月期			15年12月期			累計
	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額	影響額
売上高	6,029	5,931	△98	6,624	6,565	△59	7,367	7,349	△18	9,362	9,362	—	△175
営業利益	111	55	△55	246	227	△19	65	55	△9	△111	△111	—	△84
経常利益	106	43	△62	265	238	△27	81	61	△19	△127	△137	△10	△119
当期純利益	34	△50	△84	110	99	△11	39	16	△22	△179	△186	△7	△125
純資産	1,514	1,429	△84	1,751	1,656	△95	1,733	1,615	△118	1,539	1,414	△125	△125
総資産	3,005	2,974	△31	3,196	3,194	△1	3,651	3,651	—	5,642	5,642	—	—

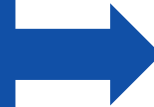
※連結子会社（株式会社関心空間（旧商号 株式会社 SIIIS））における不適切な会計処理にともない、過年度決算の訂正を行っております。（2016年6月16日公表）

原因と再発防止策

× 原因

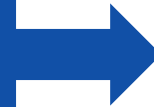
☑ 再発防止策

SIISへの出資時の
検討不足



企業買収等の際の
深度ある調査の実施

SIISの社内体制の不備



当社およびグループ
会社の管理体制の強化

当社のSIISに対する
管理体制



当社およびグループ
会社におけるコンプライアンス
意識の徹底

※再発防止策の詳細につきましては、2016年7月8日公表の「当社連結子会社の不適切な会計処理等に関する再発防止策等に関するお知らせ」をご確認ください。

前頁の再発防止策を実行することにより、
当社及びグループ子会社の
コンプライアンスの遵守を確実なものとし、
信頼の回復に努めてまいります。

何卒ご理解とご支援を賜りますよう
お願い申し上げます。

サイオスについて



SIOS is Innovative Open Solutions

当社は、Linuxに代表されるオープンソースソフトウェアの開発と利用を軸に、OS（基本ソフトウェア）、サーバー、Webアプリケーション、クラウドコンピューティング、ビッグデータに関わるソフトウェア製品とサービスの提供を行っています。直近では急速に進展するITインフラ仮想化を支えるため、機械学習機能を搭載したIT運用分析ソフトウェアSIOS iQを開発し、提供を開始しました。

これからも革新的なソフトウェア技術を追求し、世界のIT産業に影響力のある存在、「インフルエンサー」となって価値を創造し、社会の発展に貢献してまいります。

本社	東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル
資本金	1,481百万円
設立	1997年5月23日
社員数	連結458名（2015年12月31日現在）
連結 子会社	SIOS Technology Corp.（米）、赛欧思（北京）科技（中）、グルージェント（日）、関心空間（日）、Glabio,Inc.（米）、キーポート・ソリューションズ（日）、Profit Cube（日）



項	用語	説明
5	Fintech (フィンテック)	Finance (金融) とTechnology (技術) の融合による新たなテクノロジーのこと。
5	SIOS iQ	仮想及びクラウド環境においてアプリケーションの稼動状況を包括的に監視・分析・最適化し、パフォーマンスや効率性の向上、信頼性保護を図り、複雑な課題を解決する製品。
5	OSS (オープンソースソフトウェア)	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
5	LifeKeeper	本番稼動のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。
5	MFP向けソフトウェア製品	プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP (Multi Function Peripheralの略) という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」等の開発・販売・保守。
16	機械学習技術	人間が行っている学習能力と同様の機能をコンピューターで実現しようとする技術、さまざまなデータから有益な情報を発掘するもの。
24	クラウド	コンピュータ処理をインターネット経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

本件に関するお問い合わせ

サイオステクノロジー (IR)
Tel : 03-6401-5111 (代表)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

https://lp.sios.jp/MRK_Inquiry_IR.html



SIOS